

2022年3月、アメリカ穀物協会は11年目となる「トウモロコシ輸出貨物品質報告書」を発表しました。この概要は、調査でテストされた430の輸出貨物サンプルの検査結果を反映しています。2021年の良好な生育期条件は、2021/2022 マーケティングイヤーの早い時期に輸出用に集められたトウモロコシの品質に良い影響を与えたと思われます。この影響を反映して、今年度の報告書のためにテストされたトウモロコシサンプルの平均的な品質は、すべての等級ファクターで米国No.2等級よりも良いか同等でした。さらに、アフラトキシンの検査では2つのサンプルだけが米国食品医薬品局(FDA)の規制レベルを上回り、すべてのサンプルでデオキシニバレノール(DON)またはポミトキシンの検査でFDA勧告レベル以下となりました。品質ファクターの結果の概要は以下の通りです。

輸出貨物の等級ファクター

- **容積重**の平均値(58.0ポンド/ブッシェル、または74.7キログラム/ヘクトリットル)は2020/2021年と5YA¹を上回った。約99.8%のサンプルが米国No.1等級のトウモロコシの最低要件(56.0ポンド/ブッシェルまたは72.1キログラム/ヘクトリットル)以上であり、全体的に品質が良いことを示した。
- **破損粒・異物(BCFM)**の平均値(2.8%)は2020/2021年と同じで5YA(2.9%)とほぼ同じ、63.8%のサンプルが米国No.2等級の限界値を下回った。
- **総損傷**の平均値(3.1%)は、2020/2021年(2.3%)および5YA(2.5%)を上回った。今年の米国No.1等級の上限値(64.0%)を下回るサンプルの割合は、2020/2021(75.7%)年と2019/2020年(59.8%)の間であった。
- **熱損傷**の平均値は0.0%で、2020/2021年および5YAと同じであった。今年のサンプルのうち、0.0%を超えたのは1つだけであった。

輸出貨物の化学組成

- **タンパク質**含量の平均値(乾燥ベース8.6%)は、2020/2021年と5YA(それぞれ8.4%と8.5%)を上回った。
- **デンプン**含量の平均値(乾燥ベース72.0%)は、2020/2021年と5YA(それぞれ72.1%と72.2%)を下回った。
- **油分**含量の平均値(乾燥ベース3.9%)は2020/2021年(3.8%)を上回ったが、5YA(4.0%)を下回った。

輸出貨物の物理的ファクター

- **ストレスクラック**の平均値(8.4%)は、2020/2021年(10.6%)を下回ったが、5YA(8.6%)とほぼ同じであった。
- **百粒重**の平均値(36.00グラム)は2020/2021(37.01グラム)を下回ったが、5YAと同じであった。
- **穀粒容積**の平均値(0.28立方センチメートル)は2020/2021年(0.29立方センチメートル)を下回ったが、5YAと同じであった。
- **真の穀粒密度**の平均値は(1.277グラム/立方センチメートル)、2020/2021年と同じだったが、5YA(1.283グラム/立方センチメートル)を下回った。
- **完全粒**の平均値(86.3%)は、2020/2021年と5YA(それぞれ83.2%と83.7%)を上回った。

1. 5YA は、2016/2017、2017/2018、2018/2019、2019/2020、2020/2021年のトウモロコシ輸出貨物品質報告書の品質係数の平均値を単純平均したものです。

- 硬胚乳の平均値 (84%)は、2020/2021年と5YA(それぞれ80%と81%)を上回った。

輸出貨物のマイコトキシン

- 2つのサンプルを除くすべてのサンプル (98.9%)が、アフラトキシンの米国食品医薬品局 (FDA) の規制レベル (20.0ppm) 以下であった。アフラトキシンの連邦穀物検査局 (FGIS) の「低準拠限界値」(5.0ppm) 未満のサンプルの割合も97.3%で、2020/2021年と2019/2020年(それぞれ98.3%と96.3%)とほぼ同じであった。
- デオキシニバレノール (DONまたはボミトキシン) の検査では、100%のサンプルが1.5ppm以下となり、2020/2021年と2019/2020年(それぞれ95.6%と98.3%)を上回る割合となった。また、過去3年間、すべてのサンプルでFDAの勧告レベルである5.0ppmを下回っている。
- フモニシンの検査を行ったサンプルのうち、100.0%がFDAの最も厳しいガイダンスレベルである5.0ppm未満であり、2020/2021年(99.4%)とほぼ同じで、2019/2020年(93.3%)を上回った。